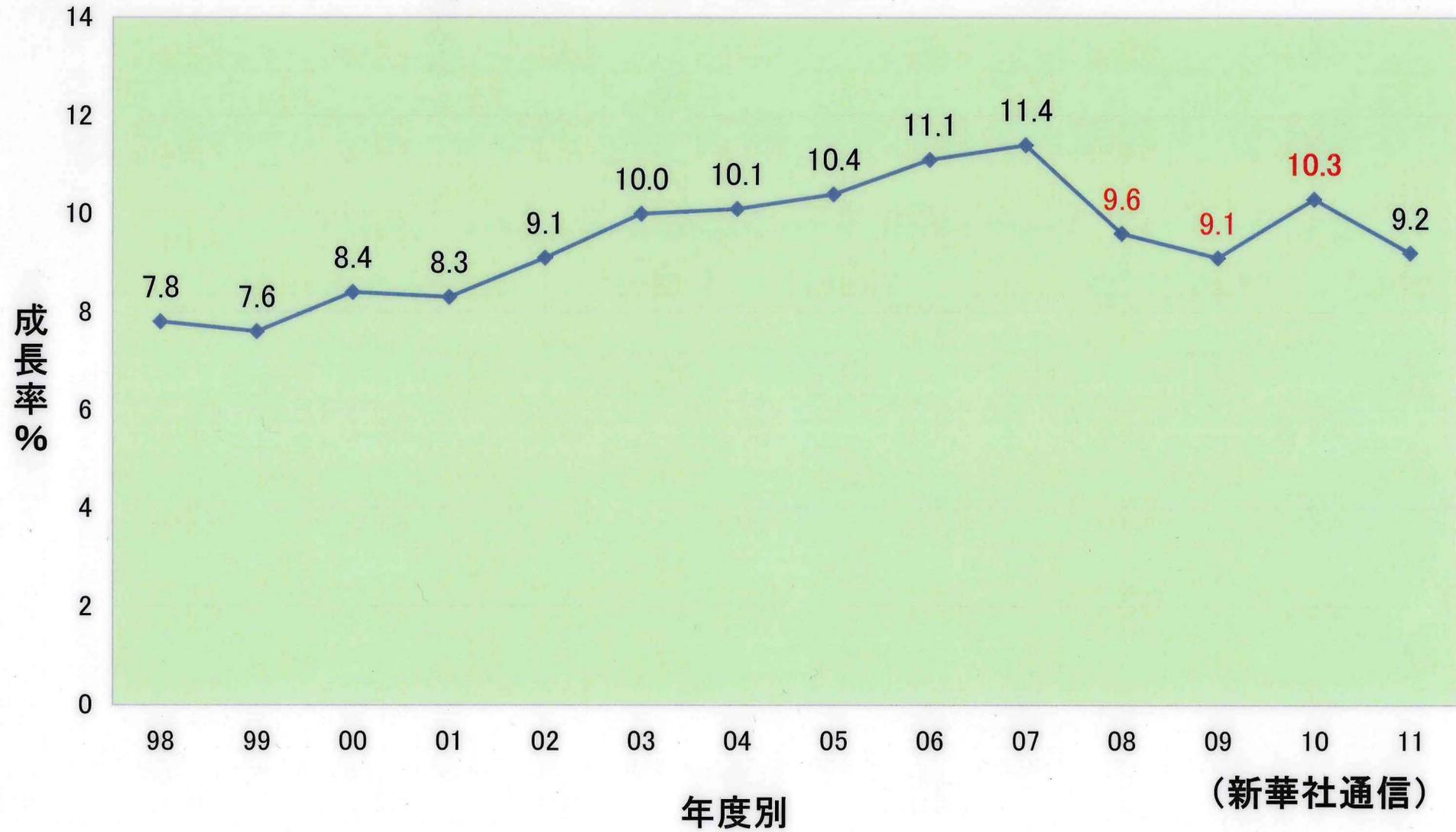


①中国GDP成長率は連続して上昇しており、リーマンショックの影響で2008～2009年は一時的な鈍化があったものの、2010年にはほぼ元の状態に戻り、今後も穏やかに上昇するものと推測されます。ここ10年を見ても平均で年間約10%の伸び率です。

(政府活動報告で2012年のGDPの伸び率について、7.5%を目指す方針を示しています。)

中国GDP成長率 推移表 (%/年度)

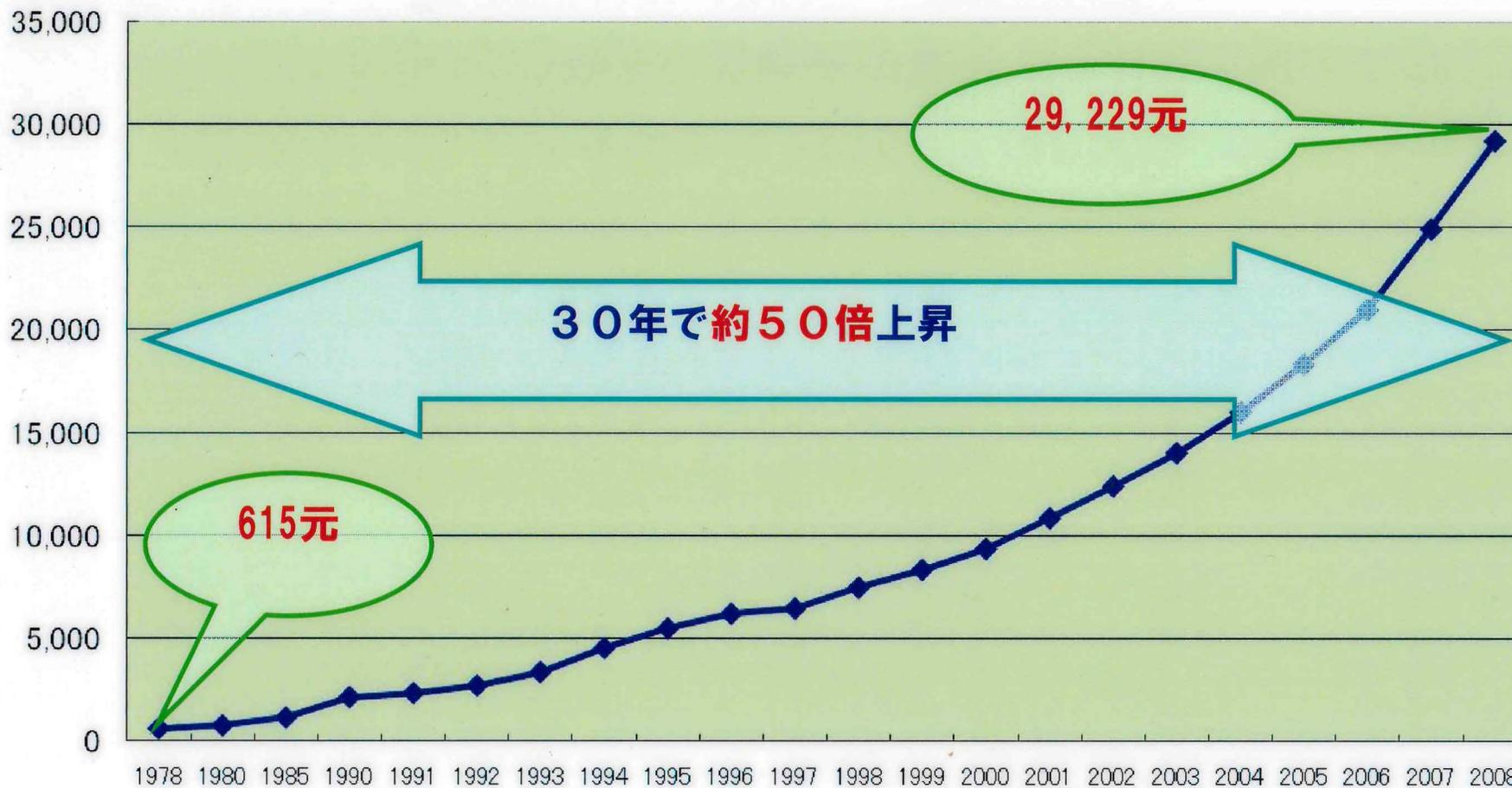


②こちらは中国における労働者の平均賃金を表しています。

1978年から2008年までの30年間で中国の平均年収は約50倍と
なっています。

中国における労働者の平均賃金 (元/年度)

平均年収(元)



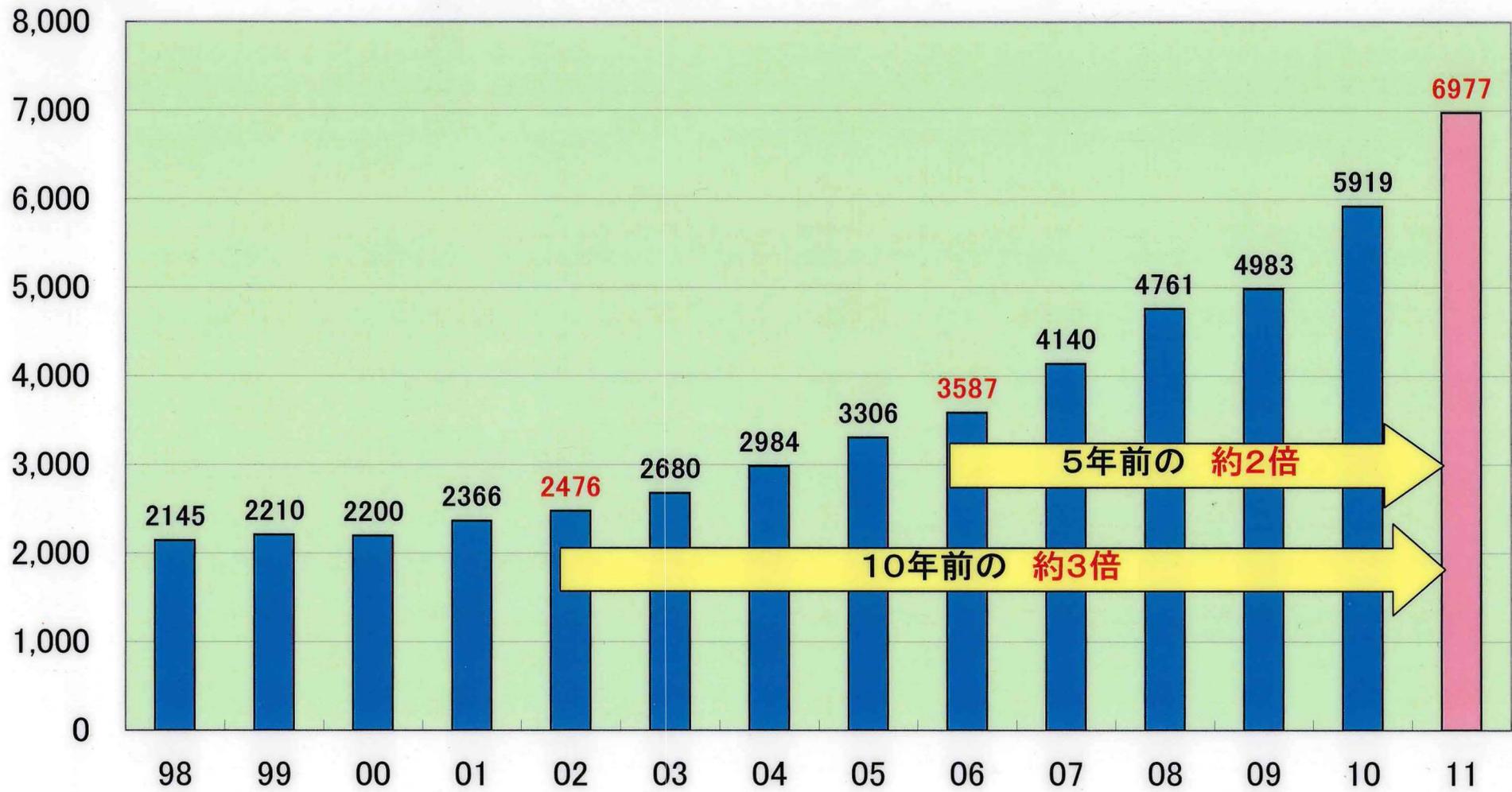
中華人民共和国国家統計局 中国統計年鑑

③この表は中国で農業に従事されている方の平均年収を表しております。

中国農業従事者の平均年収はご覧の通り右肩上がりとなっており、特に5年前に比べ約2倍、10年前に比べ約3倍と特に最近の上昇率が顕著です。農業従事者の所得が上がりゆとりができることにより、従来の作っては換金、作っては換金の【買い手市場】から市場の動向を見ながら、高値時に売れる【売り手市場】になっていることがお分かりいただけます。

中国農業従事者平均年収(元／年度)

(元)

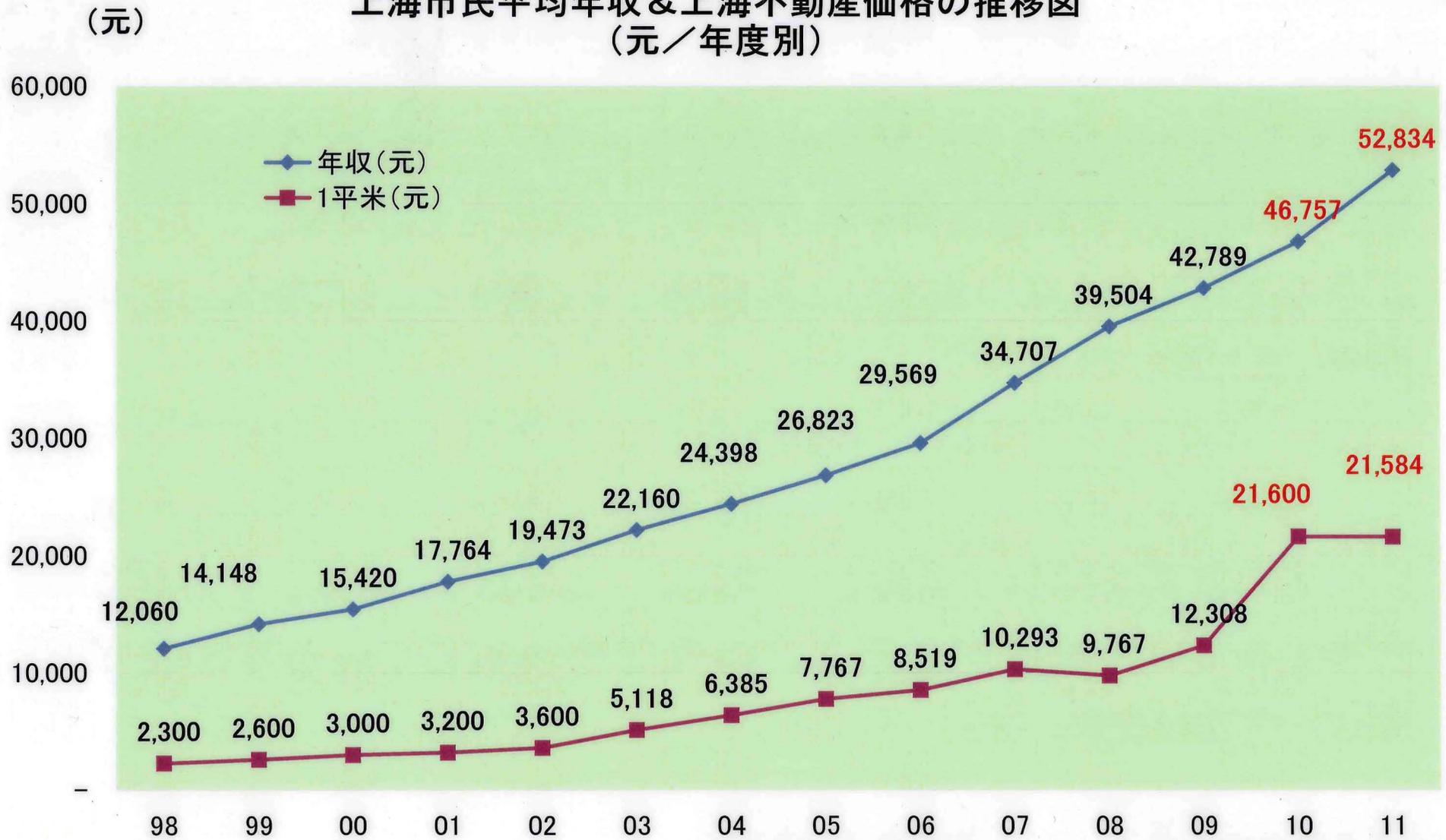


中国社会科学院

④こちらは中国国内で比較的裕福な都市部・上海での平均年収を青い線、同市の不動産価格を赤の線でグラフ化したものです。上海の平均年収も高い水準で上昇傾向です。年収とともに物価もほぼ比例して上昇しています。

2011年の不動産価格は中国政府が不動産価格抑制政策を実行したため下落しています。また2012年も温家宝首相は不動産への投機的な需要を抑制する方針を明らかにしており、従来、不動産に投機されていた資産が生薬などの天産物へ投機される可能性が高くなっております。

上海市民平均年収 & 上海不動産価格の推移図
(元/年度別)



上海市社会保障局データ 中国発展改革委員会

⑤以上を踏まえまして、こちらが中薬材情報による生薬の繁用品74種の平均価格を年度毎に指数化したものです。

2002 年を 100 とした場合、生薬74種の平均価格指数は 2010 年では3倍近くの273になっています。主な原因といたしまして…

①先程ご説明いたしました、中国の高度経済発展による人件費の上昇

②中国の医療改革に伴った、皆保険制度導入による生薬の内需拡大、また欧米などに代表される諸外国からの新しい需要などがあげられます。

③その他、人民元切り上げなどの為替リスクがあります。

また、生薬は天産物であり干ばつ・洪水などの異常気象で不作だった場合、価格への影響は大きいのですが、比較的安い時期にまとめ買いをする、といった事も数に限りのある天産物では難しい面もあります。

生薬繁用品74種の平均価格指数
(指数/年)

